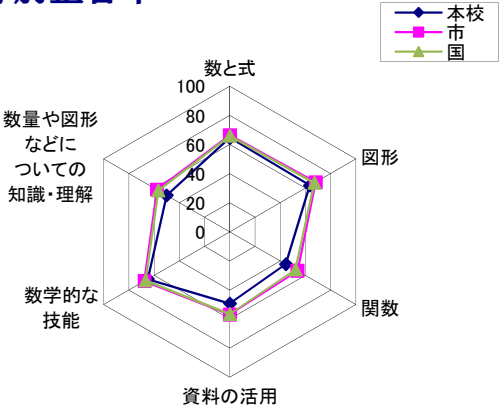


宇都宮市立田原中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

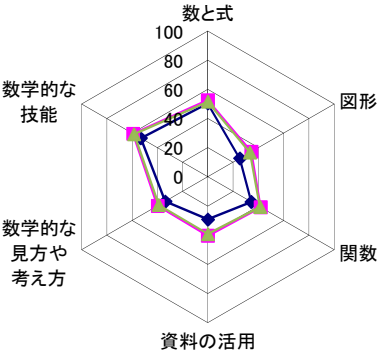
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	64.5	66.4	65.9
	図形	63.5	68.1	67.1
	関数	44.5	53.7	52.0
	資料の活用	49.4	56.9	56.5
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	65.1	67.8	66.9
	数量や図形などについての知識・理解	50.2	57.8	56.8



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	50.4	52.7	51.5
	図形	25.3	34.5	33.3
	関数	34.4	41.9	41.4
	資料の活用	29.2	40.5	39.3
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	33.7	39.9	38.9
	数学的な技能	53.1	59.2	58.5
	数量や図形などについての知識・理解			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○分配法則を使った文字式の計算や連立方程式の計算においては、本校の正答率はそれぞれ92.1%、95.5%、39.3%等で、全国正答率を7ポイント程度上回っている。 ○数量の関係を数学的に表現したり、数学的な表現を用いて説明したりすることについては、本校の正答率は61.8%、96.6%で、全国正答率を4~7ポイント程度上回っている。 ●分数や小数の計算、1次方程式の解法についての本校の正答率は、61.8%、67.4%、39.3%で、全国正答率を7ポイント程度下回っている。	・2年時に学習した内容については正答率が高いが、小学校や1年次の学習内容については、正答率が低い状況である。学年が進んでも、授業の中で既習事項を復習できる機会を作りたい。 ・授業開始時に、5分間計算プリントを行い、基本的な計算能力の定着を図る。
図形	○平面図形において、合同な図形、図形の性質についての設問に対する本校の正答率は、80.9%で、全国正答率を2ポイント程度上回っている。 ●空間図形において、図形の位置関係の把握についての設問では、本校の正答率は70.8%、78.7%、57.3%等で、全国正答率を4ポイント程度下回っている。体積の計算においては、正答が1/4程度の生徒が低い状態である。	・空間図形については、3年生の「三平方の定理」において、再度、復習する。 ・平面図形については、3年生の「相似な図形」「円」において、引き続き理解を深めさせたい。
関数	○1次関数の基本的な内容はよく理解されており、本校の正答率は91.0%で、全国正答率を3ポイント程度上回っている。 ●1次関数に付随した変域や変化の割合などの理解が不十分で、本校の正答率は31.5%で、正答が1/3程度の生徒が低い状態である。	・変域や変化の割合については、3年生の「2次関数」において、再度、復習する。 ・3年生の「2次関数」において、1、2年時の「比例と反比例」「1次関数」の内容も盛り込み、復習させる。
資料の活用	○基本的な確率の求め方などの本校の正答率は、39.3%で、全国正答率を4ポイント程度上回っている。 ●相対度数や最頻値などの理解が不十分で、本校の正答率が21.3%で、正答が1/4程度の生徒が低い状態である。	・3年の「標本調査」において、理解が不十分な部分を復習する。